

行ってこーわい 会ってこーわい

「岡っば」

岡田中学校で誕生
みんなから愛されるかっぱ

No. 63

取材で出会った「ぱっちりおめめのあひる口、ちょっぴり顔が大きいかっぱ」。よく見ると、頭の血には「岡」、ベストには「田」の文字が描かれています。この愛らしいキャラクターの名前は「岡っば」。岡田中学校で生まれた新しいキャラクターです。

2012、13の両年度に人権教育研究指定校となった同校は、シンボルキャラクターを生徒から募集。集まった12案から全校投票で決まったのが岡っばでした。考案したのは、同校2年の逢坂真生さん＝西古泉＝「自分の考えたものが動いてうれしい」と笑顔で話します。でも、決まってからが試行錯誤の毎日でした。「目がなかなかつかなくて」と逢坂さん。人権委員、美術部とボランティア部が協力し、自分たちの力で岡っばを形にして、息を吹き込んでいきました。頭は発泡スチロール、靴は怪獣スリッパ、手はゴム手袋で…。先生や生徒のアイデアと岡っばへの思いが詰まったキャラクターになっています。

「暑くて重い。最初は脱ぐと頭が発泡スチロールだらけだった」と話すのは、同校2年の郷田健太さん＝北川原＝。頭が4.7キログラムもある岡っばの中に入っています。苦労はありますが、あいさつ運動など多くの学校行事に参加して、ファンも増えている岡っば。郷田さんも満足そうな笑顔を見せます。

今後は校内行事以外にも、公民館活動など地域行事にも参加する予定の岡っば。地域からも愛されるキャラクターになる日も、もうすぐです。

①ぱっちり決めて、はいポーズ ②文化祭の様子。生徒や子どもなど岡っばの周りに多くの人が集まる ③岡っばを考案した逢坂さん(左)と中に入る郷田さん(右)



▼編集後記

家族は離れることで、より近付くことができる。岡田小学校児童による通学合宿での「久しぶりに会って、やっぱり家族は楽しい」という声を聞くと、強く「家族」というものを感じました。思えば一人暮らしをしたとき、結婚したとき、子どもが生まれたとき。関わり合いが変化するたびに、「家族はやっばりいい」と実感していました。もうすぐ年末年始。離れていた家族が、集まる時です。みんなで家族時間を満喫しましょう。

「もっこれでいいかな」

自分に甘くなってしまう瞬間、ありませんか。

今月は、書道や絵画など多くの芸術家の人と出会いました。感じたのは「妥協せず、信念を貫く」ということ。妥協して残るのは「後悔」。やり抜いて残るのは「達成感」。なのかもしれません。

完璧は無理かもしれないが、甘えた自分をもっと少し見直そうと思えた取材でした。

(久保)

Proud!
Japan

※日本企業の商品を愛用しよう

宝くじ助成事業

財自治総合センターは、宝くじの社会貢献広報事業として、地域社会の発展と福祉の向上を目的にコミュニティ助成事業を行っています。この事業を受け本村自治会は、子どもが参加できる祭りをするため、子ども神輿、法被や提灯を購入しました。

☎町民課コミュニティ係 ☎ 985-4228



有料広告募集中

掲載場所 裏表紙の最下段
 広告料 20,000円/枠(1カ月)
 大きさ 縦40ミリ×横60ミリ
 カラー フルカラー
 ☎総務課広報情報係 ☎ 985-4132